

別紙 参考様式 1

令和 8 年度学校経営計画

学校名 東広島市立松賀中学校

校長名 三谷 晶子

I 学校の状況

学級数	17	児童・生徒数	459	教職員数	32
メールアドレス	matsuga-chu@city.higashihiroshima.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/matsuga_chu				

II 教育目標

夢や目標に向かって挑戦し、未来をたくましく生きる生徒の育成

III 経営理念（ミッション・ビジョン）

「信頼される学校」を基盤に、「確かな学力」「豊かな心」「健やかでたくましい体」を柱とした教育活動を通して、教職員と生徒が共に成長を実感できる学校
--

IV 中期経営目標及び短期経営目標

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目
確かな学力	1	◎主体的に学習に取り組む生徒の育成	○生徒の主体的な学習を促す授業改善の促進 ○基礎的・基本的な学習内容の定着 ○思考力・判断力・表現力の向上	・ICT を効果的に活用する授業づくり ・各種テスト等の計画的な実施 ・学びの質を高めるための「表現すること」に視点を置いた授業改善 ・読書活動の推進	・全教科が年度一回以上授業公開 ・習熟度テストにおいて、総得点 30%以下の生徒の割合 ・他者の意見を参考にして自分の考えを再構築している生徒の割合 ・授業に満足している生徒の割合
豊かな心	2	◎元気・感動・温もりのある心の育成 ◎不登校、問題行動、いじめ 問題の克服 ◎集団規律、規範意識の徹底	○自他を尊重する集団の育成 ○不登校、問題行動等の発生件数の減少 ○不登校生徒の社会的自立に向けた支援 ○規律の徹底と規範意識の醸成	・納得と評価による生徒指導の機能的な実施 ・Hyper-QU の結果を活用した集団支援 ・不登校生徒の自立に向けた取組の充実 ・不登校対策の充実 ・松賀中スタンダードの徹底	・生徒の自己肯定感の割合 ・各尺度の非承認群 ・1 年生全員面談を含む SC と連携した教育相談 ・前年度不登校生徒の欠席日数が改善している割合 ・SSR 所属生徒の内、欠席日数が改善している割合 ・松賀中スタンダードを実行しようとする生徒の割合
健やかでたくましい体	3	◎基本的生活習慣の定着 ◎体力・運動能力の向上	○生活リズムの確立 ○体力・技能の向上	・起床時刻、就寝時刻の固定 ・学習以外のスマホ等、情報端末の使用時間の削減 ・新体力テストの結果に基づく運動内容の充実 ・部活動への自主的参加	・起床時刻、就寝時刻をほぼ固定している生徒の割合 ・「メディアコントロール週間」での学習以外でのスマホ等情報端末の使用時間が規定時間内の生徒の割合 ・1 日の運動時間 30 分未満の生徒の割合(授業含む) ・部活動に意欲的に取り組む生徒の割合

信頼される学校	◎地域に信頼される開かれた学校づくり	○情報発信 ○働き方改革	・通信やホームページの積極的活用 ・学校組織の適正化と分掌等役割配分の適正化	・学校だよりの発行 ・HPの計画的な更新 ・県費負担教職員の勤務時間外在校等時間の月平均 ・県費負担教職員の年度内の年次有給休暇取得数
---------	--------------------	-----------------	---	--

V 学校評価

1 学校評価システムの組織

- (1) 御藪宇小学校区 … 勝谷 秀明 (御藪宇小学校区住民自治協議会会長)
竹井 春江 (東広島地区更生保護女性会長)
石川 真紀 (御藪宇小学校長)
- 東西条小学校区 … 井林 宏司 (東西条地区住民自治協議会会長)
岡田 育三 (東広島市市議会議員)
下田健一郎 (東西条小学校長)
- 西条小学校区 … 山本 重治 (西条住民自治協議会副会長)
岸田 洋美 (元東広島 21 ロータリークラブ会長)
神笠 一義 (西条小学校長)
- 松賀中学校 … 三谷 晶子 (松賀中学校長)
山口由紀恵 (PTA 会長)

小中学校長の氏名は
4 月決定後に入れてください。

(2) 地域学校活動推進員

佐々木 成樹 (御藪宇小学校区住民自治協議会顧問)

2 自己評価及び学校関係者評価の実施計画 (公表方法を含む)

- (1) 自己評価 … 前期・後期の各期、評価項目ごとに実施
- (2) 学校運営協議会による評価 … 年 3 回実施 (HP、学校だより等により公表)
- 第 1 回 校長が作成する学校運営の基本方針を木容疑し、承認する。
- 第 2 回 各分掌等で評価項目に対する自己評価 (前期分) について協議し、評価を受ける。
- 第 3 回 各分掌等で評価項目に対する自己評価 (後期分) について協議し、評価を受ける。
- 1 年間の取組に対する成果と課題をもとに協議し、次年度への意見を集約する。